

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2020 春
vol. 25



2月下旬、例年より少し早く見ごろを迎えた頼朝桜。南房総では源頼朝が石橋山の戦に敗れ小舟で安房の国へ逃れ再起を図ったという史実にちなみ、河津桜を「頼朝桜」と名付け愛でています。(南房総市平久里)

も く じ

□不易流行	…2	□千葉県立君津亀山少年自然の家	…7
□ろくすけ日和	…3	□南房総市大房岬自然の家	
□千葉シニア自然大学	…3	千葉県立大房岬自然公園	…8～9
□12月～2月の現場レポート	…4～5	□ちば・体験活動ネットワーク	
□受託・ネットワーク事業	…6	団体紹介	…10～11
		□千葉自然学校スタッフ紹介	…12

不易流行

理事長 久保田 康雄

この1年を振り返ると、これほどまでに自然の猛威を感じた年はありませんでした。昨年9月と10月に発生した大きな2つの台風によって関東地方、甲信地方、東北地方など各地に甚大な被害をもたらしました。また、地球温暖化が原因かどうかわかりませんが、暖冬による雪不足でスキー場がオープンできずにホテルや旅館等から悲鳴が聞こえ、私たち自然学校も雪のあるスキー場を探すことに苦勞をいたしました。さらに、2、3月には、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延によって、私たちの日常生活や経済活動にさまざまな影響を及ぼしました。まさに、予測不可能な時代に突入した感じがいたします。さて、私たちはこのような時代にどのように対応し、日頃からどのような準備していけばいいのでしょうか。



平成8年、中央教育審議会は、「子どもたちにとって、いかに社会が変化しようと、自分で判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力である『生きる力』を育むことが大切である」との答申を報告しています。そして、この「生きる力」の理念は、20年以上経った現代においても、しっかりと継承されています。まさに、今の時代に必要な資質・能力であると言えるのではないのでしょうか？

「生きる力」を育むためには、子どもたちは自然や社会に直接触れる体験が必要であると言われています。また、自然体験や生活体験が豊富な子どもほど、自己肯定感が高いという調査結果があります。さらに、自然体験活動の経験は、災害に役に立つという報告もあります。

現代の子どもたちが確かな価値観や揺るぎない自信を持ち、あらゆる局面に対応できる能力を持つために、質の高い自然体験活動が適宜提供される必要があると考えています。

千葉自然学校では、予測困難なこの時代の中で、子どもたちが、自ら考え、主体的に判断し、課題を解決してゆく能力を育むために、令和2年度も、海や山や川や森で展開される質の高い自然体験活動プログラムを数多く提供するために準備をしているところであります。

さらに、千葉自然学校では、「人と人、人と自然を繋げること」をコンセプトに古民家ろくすけ、千葉県立君津亀山少年自然の家、千葉県立大房岬自然公園、南房総市大房岬自然の家を拠点に、子どもからシニアまで幅広い年代を対象に、自然から学び、自然を活用し、地域に根差した活動を行っています。是非皆様方には、さまざまな機会に千葉自然学校の施設やプログラムをご利用、ご活用いただければ幸いです。今後とも千葉自然学校をよろしく願い申し上げます。



不易流行…いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。

また、新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが不易の本質であること。

● ろくすけ日和 『ろくすけをみんなが集う場所へ』

千葉自然学校では、築190年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進め、子ども・大人のキャンプなどで皆が過ごしやすい場所を目指しています。時々テレビにも出ています！

山笑う季節になりました。「ろくすけ」の庭の桜もほころび始めています。「ろくすけ」の2月、3月は数人ずつ集まってつくる「みそづくり」と南房総市からの受託事業「二地域居住推進事業」で宿泊して南房総の暮らしを体験していただくお客様、そして、毎年この時期に宿泊利用をしてくださっているご家族をお迎えしました。そうそう、テレビの撮影利用もありました。



ろくすけには立派な彫り物がたくさん。さて、これはろくすけのどこにあるでしょう？

この施設が、子どもたちのキャンプ利用の他に、一般の方々にも宿泊していただける施設であるということは、まだあまり知られていません。平成29年度に農泊施設として登録し、オープンしました。外観古民家、中はリニューアルされた快適空間・・・と違って、昭和30年代頃の田舎の民家のまま、冬はすきま風が気になります。でも、このままを保全し、子どもたちが駆け回っても気にならないそんな宿泊施設でありたいと思っています。大きな神棚、玄関や仏壇の彫刻、障子にはまった古いガラス・・・それぞれに歴史があり物語があります。

いろりに炭をおこせば、みんなが寄ってきて話が始まります。こんな空間から生まれる人との関係は、行きずりの旅人ではなく、ここをもう一つの居場所とする人の繋がりです。

昨秋の台風後の地域の片付けに集まってくださったのは、平久里や「ろくすけ」を懐かしい場所、繰り返し行きたい場所としてくださっている方々でした。今使われている言葉でいうと関係人口・・・こんな方々と活動を通して繋がり、そのお力をかりながら地域の再生や活性化ができるよう、「ろくすけ」が皆さんのもう一つの居場所になれるよう取り組んでゆきます。よろしくお願いします。

(文:遠藤陽子/サニー)

● 千葉シニア自然大学 「南房総・鴨川研修旅行 2020.01.30-31」

例年秋に実施していた研修旅行ですが、今年度は台風被害のため1月に延期をし、場所も南房総から鴨川方面に移しての実施となりました。

最初の訪問先は平久里。伊予ヶ岳や富山を眺め、水仙の花が咲く中の散策をし、古民家「ろくすけ」で地元の食材を生かしたお昼を味わいました。酪農のさとでは、千葉県産の嶺岡が、徳川吉宗の命で「白牛酪」という乳製品を作らせたことから始まる「日本酪農発祥の地」であることを知りました。「大山千枚田」では「棚田オーナー」などの活動について、お話を伺いました。きれいに広がる棚田の風景ですが、保存するために様々な知恵と工夫があることを知りました。

夜には、宿泊先の内浦山県民の森で、天体望遠鏡作りの研修と冬の星座観察をしました。金星、月に続き、南には冬の星座、オリオン星雲、頭上にはすばる星、北には北極星、カシオペア、北斗七星も見え、全天の素晴らしい星空でした。

二日目。清澄寺では、日蓮聖人が立教開宗した旭が森、宝物殿の見学をしました。鴨川郷土資料館では、学芸員

の案内で「波の伊八」に関する展示を中心に見学しました。作風の変化、複数での作業による作品から「伊八」は個人名と言うよりブランド名と考えられるなど、伊八についての知識を深めることができました。道の駅オーシャンパークで昼食、買い物の後、大山不動尊へ。正面の不動堂では52歳の伊八が制作した飛龍、地龍、2体の竜が出迎えてくれました。波頭から立ち上る水蒸気が雲となって恵の雨を呼ぶ様を現しているそうです。お堂の前には、長狭平野が広がっていました。

盛りだくさんの日程でしたが、天候にも恵まれ、8期生の親睦もさらに深まった研修旅行でした。

(文:宮田明吉)



12月～2月 主催事業現場レポート

こども

わくわくどきどき雪遊び！ スノーあそベンチャー



12/26(木)～28(土) 施設泊 那須甲子青少年自然の家
小学生 ◆ 雪遊び、雪合戦/熊撃ちの話/お楽しみ会/
ソリチュービング

1日目は雪が少なかったですが、自分たちの足で歩き、雪があるところを発見！雪合戦大会をしました。講師の熊撃ちの方から、熊の生態や実体験を通じた貴重なお話を聞きました。実際に使用している猟銃も触らせてもらいました。最終日は、ついに大雪が降りソリチュービングや雪だるまなどやりたい遊びを思いっきり楽しみました。



本物の道具と体験談は
子どもの心に響きました。



こども

ドキドキワクワクのクリスマスパーティー 森のクリスマスキャンプ



12/21(土)～22(日)施設泊 君津亀山少年自然の家
幼児～小学生 ◆アイスフレイク/クリスマス
クッキング/サンタ大作戦/クリスマスクラフト

森の中でクリスマスにちなんだアクティビティを楽しむことができました。特に、みんなで探検してお題にチャレンジする“サンタ大作戦”では、最後にはサンタクロースからプレゼントをもらい子ども達も大満足！普段は家族で楽しむような年間行事であるクリスマスをお友達と過ごす体験では子ども達に初めての出会いや、驚きを体験してもらうことができたと思います。



サンタさんから
プレゼント♪。中身は
何かな？



こども

森のパティシエキャンプ ～夢の石窯ピザ屋さんになろう～



1/18(土)～19(日)施設泊 君津亀山少年自然の家
幼児～小学生
◆石窯ピザ作り/野外炊飯/お菓子作り

初日はおやつに作りからスタート！あつあつのチョコバナナパイを美味しく頂きました♪ピザ屋さん開店準備ではたくさんのアイデアも出て気合十分です。2日日本番ではお客さんを待つ間、緊張気味に接客練習。石窯で焼いた素敵なオリジナルピザを提供する事ができ、みんな自然とチームワークの大切さを身につけている様子でした。



自由にトッピングした
オリジナルピザを石窯で
焼いたら完成！



こども

ろくすけで凧を作ってみんなで飛ばそう! 冬の里山キャンプ



1/25 (土) ~ 26 (日) 古民家泊 ろくすけ
小学生 ◆かんたんビニール凧づくり/みんなで凧
あげ/持ち寄った食材で闇鍋/お餅つき

日本の新年といえば、凧あげにお餅つき！今回は凧も手作りしました。自分の手で作った凧が空高く飛んでいく、その楽しさは格別でした。お餅つきでも、みんなで杵をふるってお餅をつきあげました。できたてをその場で食べるのも、作った人にしか味わえないおいしさです。古民家ろくすけで大家族のように、田舎生活をみんなで満喫しました。



地域の広場で凧あげ中。
凧は写真に写らないほど
空高く飛んでいきました。



こども

冬のガチ釣りキャンプ

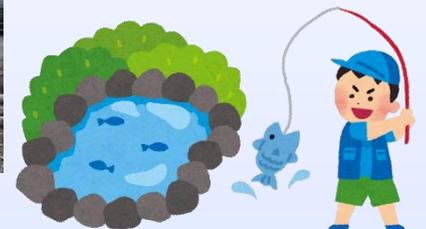


2/22(土)~24(月) 施設泊 君津亀山少年自然の家
小学生 ◆ワカサギ釣り(高滝湖)、
海釣り(鴨川漁港)、仕掛けづくり、お楽しみ会

とことん釣りを楽しんだ3日間でした。1日目、2日目と釣果はあがりませんでしたが、子どもたちはあきらめることなく、釣りを楽しんでいました。1日目の夜には仕掛けの作り方や糸の結び方を覚え、初日は糸が絡んだなどちょっとしたことでスタッフに頼っていた子どもたちが最終日には自分たちで糸を結び仕掛けを作れるようになっていました。



念願の一匹をGET!



おとな

房総の古道を歩く！ 2/1(土) 日帰り 痔神社～トビイワ山・高倉山



今回の開催場所は、鴨川市の里にほど近いトビイワ山です。スタートの痔(もうけ)神社は、頼朝伝説が残ると言われ、静かな佇まいでその場に在りました。参拝を済ませ、倒木残る林道を進みます。この林道は君津市との境、郷台林道につながります。林道より藪漕ぎし、古道の東条道へ。尾根に出てからのトラバースが難所でしたが、峠に出ればひと安心。そこには太平洋、鴨川市内を見下ろす絶景が待っていました。そして絶景の中でのお弁当は格別でした。



前日の雨で登頂は厳しいと思っておりましたが、ザレ場の乾きも良く、トビイワ山へ行くことができました。下山は東条道を巡り、保台ダムまで。最高の天気の中で古道歩きを楽しんできました。

《受託・ネットワーク事業》

ちば版農泊ネットワーク情報交換会

(千葉県「都市農山漁村交流活性化事業」)

今、日本ならではの伝統的な生活体験と、農家に限らず農村地域の人々との交流を楽しんでもらおうという「農泊」が、全国各地で話題になっています。

千葉県でも2019年度までの間に、国の農山漁村振興交付金(農泊推進対策)に採択された16地域が、地域の特色を活かした「農泊」に取り組んでいます。これまでのグリーン・ツーリズムに比べ特色となる切りの分野が「食、農業、林業、漁業、里山、古民家再生…etc」と多様になり、連携することでさらに可能性が広がっていきそうだ、ということで、県内の農泊地域の皆さんに声をかけ、情報交換会を開催しました。

県内16の農泊地域を千葉自然学校のホームページにまとめましたので、ぜひのぞいてみてください！



←千葉自然学校HP
「県内の農泊地域のご紹介」ページ

(文：佐藤玲子/かつを)

自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成講座のご紹介

NEALとは、Nature Experience Activity Leaderの略で、「全国体験活動指導者認定委員会」が定めた自然体験活動指導者の認定制度です。

以前は日常の中にあつた自然に触れる機会は減り、体験の機会を意識的に作る必要性が求められています。そのため、正しい知識と経験を持った指導者を養成し、青少年をはじめとする多くの人々の自然体験



「安全管理」の実技風景。まき割りをする際の注意事項を説明しています。

活動を推進することがこの制度の目的です。「自然体験」というとアウトドアスポーツやキャンプをイメージしますが、農林漁業体験や文化体験、里山暮らし体験などの活動も含まれます。そこで必要となる知識や技術を講義と実技を交えたカリキュラムの中で学ぶことができます。

NEAL養成団体の認定を受けた千葉自然学校は、NEAL養成講座を実施することが可能です。講師派遣をご希望の場合はお気軽にご相談ください。(文：佐藤玲子/かつを)

中山間ふるさと活性化チャレンジ事業「成果報告会」

1月20日に千葉県内の農業関連高校と行ってきた「中山間ふるさと活性化チャレンジ事業」の成果報告会を行いました。

この事業は中山間地域と関わりを持つ人材の創出、中山間地域及び地域住民活動の活性化を図るためのもので、高校生たちは地域の花壇の花植え作業や、大豆のPR活動、台風で被害のあった花卉農家の手伝いなど多岐にわたる活動を通して地域や農村との交流を図りました。

報告会では高校生たちによる活動の報告や、講師の方を招いたミニ講座、意見交換会、最後には中山間地域を活性化するために個人が出来ることを発表してもらいました。“ボランティアを頑張る”“地域とつながる職業に就く”など今の自分に出来ることや未来のことなど頼もしい意見がたくさん出ました。若い力でどのように中山間地域に関わってくれるか、今後の活躍が楽しみです。(文：山崎大地/だいすけ)



～きみかめ便り～



千葉県立君津亀山少年自然の家

千葉県より指定管理を受け、「君津亀山少年自然の家」の管理・運営をしています。清澄山系から連なる自然度の高い森の中に建つ、最大宿泊者数300人規模の施設となっています。プラネタリウムの投影や芝の斜面を生かした芝すべり、カレーや石窯ピザなどの野外調理、思い出のクラフト作成など47種類ものアクティビティをご用意しております♪

千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

「子どもは外で遊ぶべし!」

政府の一斉休校要請により、自宅などで過ごしている子どもたち。子どもたちが公園で遊んでいても、学校や教育委員会に苦情が寄せられるといったことがあるようです。…日本人、大丈夫ですか。

「子どもたちが外で遊ぶ」これは当たり前のこと。苦情を入れた方は政府が学校を休校にしたのだから、子どもは外に出るべきではないと考えたのでしょうか。文部科学省は子どもたちの過ごし方について「屋外での運動や散歩を妨げるものではない」とする見解を示しています。そもそも子どもたちが家に閉じこもっていたり、友達とお話も出来ず、運動もできず自習を続けるという状況が、子どもにいい影響を及ぼすわけがありません。子どもは外で遊ぶべし!(ただし、少人数で!!)



きみかめ掲示板

【イベント報告】

2/8(土) きみかめ通学合宿

今年度は参加した子どもたちが身の回りの地域に可能性を感じられるようなプログラムを計画しました。獣害や台風被害などの地域の問題もありますが、君津産ジビエでBBQをしたり、倒木でクラフトを作ったりと、思いっきり楽しむことができました。短縮日程での開催でしたが、とっても濃い時間を過ごすことができました。



【自然情報】

お花シーズン到来!

きみかめでは今、春のお花が見ごろを迎えています。林の中では足元にフデリンドウ、タチツボスミレ、キランソウなどが咲き、少し目線をあげると、マムシグサ、イズセンリョウ、クロモジなどの花々が迎えてくれます。そして、意外と穴場のお花スポットなのが芝生ゾーン。除草剤を使わず手入れをしているため、よく見るとコケリンドウ(写真)などの小さな花々がちょっとしたお花畑を作っています♪ きみかめをご利用の際には、ごろんと芝生に横になってミクロのお花畑を楽しんでみてはいかがでしょうか。



～たいぶさ便り～



・南房総市大房岬自然の家
・千葉県立大房岬自然公園

南房総市、千葉県よりそれぞれ指定管理を受け、「大房岬自然の家・食堂」「大房岬自然公園」の管理・運営をしています。

海と森の両方を楽しめる豊かな自然を活かしたプログラム・イベントが人気で、地元の方や千葉県内の方はもちろん、県外からも多くの方が訪れます。



南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

春分を過ぎて昼間の気温も高い日が多くなりました。海を見下ろす森の木々ではシジュウカラやメジロがさえずり、ヤシャブシが芽吹いたようで独特の香りが辺りを包んでいます。去年の台風15号に始まり、多くの自然災害に見舞われました。さらには世界を不安に陥れるウイルス禍までもが私たちの暮らしにも暗い影を落としています。

自然の家をご利用いただくはずだったお客様は9割方がキャンセルとなりました。気が滅入りますが、身の周りの自然界は徒然なるままに命の営みを続けます。暖かい南風が吹くほどに春が色濃くなる森で忙しく飛ぶミツバチに勇気をもらいました。



千葉県立大房岬自然公園 公園長 山口亮介

この原稿を書いているのは2020年3月。新型コロナウイルスの影響で全国の学校が一斉休校になりました。学校が急遽休みとなった子どもたちの一部は行き場を失い、大房岬に遊びに来てくれています。平日でも天気のいい日は公園内で遊ぶ子どもの数がいつになく多く、とても賑やか。そして今の季節は春。地面にはスマレなど早春の植物が咲き誇り、池の周辺ではカエルが大合唱。池の中はオタマジャクシがいっぱい。昆虫たちも動き出しています。自然を感じるには最高の季節です。

今後新型コロナウイルスの問題がどうなっていくか先行きは不安ですが、子どもたちにはこんな時だからこそ自然をいっぱい感じてもらい、元気に過ごしてもらいたいです。



南房総市大房岬自然の家食堂 料理長 松田光央

「免疫力アップ」

季節の変わり目は気温差によって体調を崩す事が多くなります。そんな時こそ食事で免疫力を高めることをおすすめします。免疫力とは“体に備わっている自然治癒力で体の中の自分とは異なる異物を認識して排除する力”を言います。

免疫力を高めるには、こんな食事がおすすめです。

- ①たんぱく質、ビタミン、ミネラルを多く含んだ玄米。
- ②良質な食物繊維を含んだ海藻やキノコ類。
- ③様々なビタミンやカロチン、リコピン、アスパラギン酸といった体に優しい栄養を含む緑黄色野菜。

もちろんその他の食材もバランスよく食べ、適度な運動や休息をとることも大切です。ぜひこの機会に日々の食事を見直してみませんか？



taibusagram

大房岬の
とっておきの瞬間
をご紹介します!



Taibusamisaki

宿泊室の壁塗り



大房岬自然の家が建てられてから40年。宿泊室のイメージチェンジという事で、壁を塗り直しました。刷毛やローラーを使って、自然光で明るく映える3色で部屋毎に塗り分けました。

例年利用されている団体の方や小学校の子どもたちも応援に来ていただいて、お部屋はとても綺麗になりました!お手伝いいただいた皆さん、ありがとうございました!

#大房岬自然の家

#珪藻土塗装

#アプリコット、テラコッタ、ベイビーグリーン

#とってもきれいになりました



いいね! 555件

たいぶさ岬掲示板

イベント 報告

2019/12/21(土),23(月)

キラキラ雪が舞う!スノードームづくり

小さなピンと、サンタや雪だるまのオーナメントを入れてオリジナルのスノードームを作りました。洗濯のりと水を混ぜた「魔法の水」をピンに入れると、ふわふわとカラーサンドの雪が舞います。それだけでなく、ラメやスパンコールなども入れて世界にたった一つのスノードームたちが並びました。



イベント 報告

2020/2/29(土)

岬の楽校 『古民家ろくすけで遊ぼう!』

元々は宿泊の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し、日帰りに変更して実施しました。平群天神社に集合し、梅や河津桜など春の自然を感じつつ、班でミッションに挑戦しながらろくすけを目指しました。到着後はお弁当を食べてやりたいこと遊び、川遊び、たき火、春の野草摘み&天ぷらなど、欲求の赴くままに春の里山を楽しみました。



生きもの 紹介

メジロ

名前の通り目の周りが白い鳥。くちばしがとても細く花の蜜を好むため大房岬でも桜などの木にとまって蜜を吸っている姿を見ることが出来ます。公園内全域に生息していますが、海辺の竹林などで多く目撃されています。基本は群れで生活していますが5~7月の繁殖期にはつがいで生活している姿を見ることが出来ます。とても警戒心の強い鳥なので見つけたら静かにじっとして観察してみてください。



《ちば・体験活動ネットワーク》

千葉を元気にする 会員校をご紹介！

千葉自然学校は、ネットワーク型自然学校として

『自然体験活動を通して千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指す』という趣旨に賛同頂いた県内の体験活動団体を中心とした団体の皆様が、『千葉自然学校ネットワーク会員校』としてネットワークを形成し、環境保全や地域振興を図ることを目的として設立されました。

県内外からの教育旅行や、拠点である青少年教育施設での体験受入、その他様々な事業連携の取組を行っております。

Live stock

黒木 誠さん



クラフト(工作)



自然体験



動物

Live Stock は、家畜動物とのふれあい体験、農・畜産物の利用体験、自然観察、ネイチャークラフトなどの自然体験教室を開催しています。

今回は黒木さんに Live Stock の思いや活動の様子を伺ってきました。



【団体を立ち上げた経緯や思いを教えてください。】

「Live Stock という意味は知っている？」そんな問いかけからお話は始まりました。「家畜」という意味です。黒木さんが Live Stock を設立するまでは、畜産・酪農の分野で仕事をするため、大学の畜産学科を卒業後、観光牧場に入社し、16年間勤務していたそうです。入社当初は食堂部に配属され、2年後に家畜課に移り、動物たちの飼育に携われることができました。業務の中のひとつとして実施していた「ふれあい動物教室」を行っている内に、家畜や動物、それにまつわる生活・技術をもっと伝えていきたいという思いが大きくなっていったそうです。

「現代において、お金を払えば食べ物や生活雑貨は手に入ります。田舎では不便さから若者が減り、第一次産業の大変さから後継者も少なくなってきています。しかし、自然と共に暮らしていれば、食べ物や生活雑貨など自分の力で手に入れることができます。「百姓」という言葉があります。「百姓」とは、農家であり、猟師であり、漁師であり、服屋であり、桶屋であり、草履屋であり、鍛冶屋であり、大工でもあります。そんな「百姓」になり、食べ物を得る技術や、必要なものを作り出す技術を自ら習得し、その技術を子どもたちに伝えたい。」そんな思いから Live Stock を設立したそうです。

設立当初は、自宅を事務所として活動。2年目に拠点のフィールドを持ちました。フィールドには池があったので、その池を埋めて草地にするべく開墾から始まりました。その後、徐々に整備し羊小屋を建て、羊を主としたプログラムを作り展開。現在、設立13年目になります。ですが…現在不幸があり動物はいません。充電中とのことです。

【活動の醍醐味や今後の展望を教えてください。】

やはり毛刈りですね。生きている羊から毛を取り、紡いで、フェルトを作る。生産から実用までを体験することで家畜の意義や生きるということを体験してもらい見せられたら、ということです。また、羊は人間の生活の衣・食・住に関わっていることも伝えたいことだそうです。普段使っているものの由来、「どこからきてどのようにして」、自然の大切さ生き物の重要さなどを参加者が知る機会となっています。



得意分野の動物・羊から入りましたが、今後は百姓のスキル・生きる力をさらに磨き、それ活かした実践者・伝達者として、生きる力や防災・災害教育に直結したプログラム展開をしていきたいと笑顔で話されていました。近年は自然災害などの被害が目立ちます。黒木さんのように技術や知恵をお持ちの方が率先して活動されることは頼もしく、ありがたい限りです。

取材：香山正幸（かやまん）

ピーちゃんクラブ 平山 直子さん



農体験



ボランティア



自然体験

ピーちゃんクラブは、落花生の生産日本一の町、八街市で落花生を種まきから草取り、水やり、掘り出し、ボッチ作り、脱粒する作業を、プロ農家の指導のもとで、会員の手で行い、一環した落花生作りを体験するクラブです。

落花生の他、人参なども栽培。畑で獲れた人参を使ったジュースは絶品です！



【活動を始めて15周年！】

元々八千代台で和食のお店を運営していた平山さん。「自分の家で一面の落花生畑を作りたい」という想いからピーちゃんクラブを始めて今年でなんと15周年！今回は作業のお手伝いをしながらお話をお伺いしました。

取材に伺った日はヒバリの鳴き声が心地よい3月上旬。ちょうど3名のボランティアの方がご参加されていました。この日は長椅子の修理。熟練のボランティアさんの力であつという間に素敵な椅子に早変わり！椅子以外にも作業小屋などもボランティアさん達の手作りとのこと。現在ピーちゃんクラブで管理している畑は延べ10,000㎡あり、例年4月頃に落花生の種まきを行うとの事で、これから忙しくなるそうです。一年を通して落花生や人参などの作物栽培を行い、収穫祭などのイベントを行っています。



また、家の近くの元々竹林だった場所を切り開いて桜やチューリップなどの花が見られる広場を作られました。残念ながら今年は中止になってしまいましたが、毎年4月にはここで桜のお花見会を行い、長さ10mの太巻き寿司を作られるとのこと。広場やお花見会は地域住民の方の憩いの場所となっているそうです。



【夢は上総掘りで井戸を掘ること】

今後はこの広場をより多くのお花畑にしたり、コシアブラなどの山菜が収穫できる場所を作る、そして広場内に上総掘りで井戸を掘りたいそうです。そんなパワフルな平山さん。「やりたいことがたくさんある！」とお話してくださいましたその目がキラキラと輝いているのがとても印象的でした。

ピーちゃんクラブの活動は5月からスタート予定。第1、第3土曜日に活動の受け入れを行っているそうなので、興味のある方はぜひお問い合わせください。作業の合間のゆるりとおしゃべりタイムも楽しいひと時でした。

取材：山崎大地（だいすけ）

【お問い合わせ先】

ピーちゃんクラブ：043-444-1463

【北総エリア】

- ・ワイスノー & アウトドアスクール ・NPO 法人佐倉みどりネット ・一般社団法人千葉県環境財団 ・千葉伝統郷土料理研究会 ・さんむアクションミュージアム
- ・一般社団法人千葉県観光公社 ・ヤックス自然学校 ・林造園土木株式会社 ・株式会社 HMC 東京旅行事業部 ・有限会社銚子海洋研究所 ・ピーちゃんクラブ
- ・ぬく森くらぶ ・食と農の体験工房「よもぎ館」 ・国民宿舎サンライズ九十九里 ・「わたしの田舎」谷当工房 ・スコープジャパン株式会社
- ・ちば千葉国際コンベンションビューロー ・東京クラシッククラブ

【上総エリア】

- ・みらい seeds ・Live Stock ・環南みんなの楽校 ・ひらつか地域活性化協議会 ・上総自然楽校 ・森林塾かずさの森 ・千葉県立内浦山県民の森
- ・NPO 法人市津・ちはら台自然学校 ・特定非営利活動法人ちば里山センター ・NPO 法人里山会 ・株式会社かずさアカデミーパーク ・NPO 法人大山千枚田保存会

【南房総エリア】

- ・一般社団法人森のようちえんはっぴー ・NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団 ・岩井民宿組合
- ・白浜オーシャンリゾート ・NPO 法人安房文化遺産フォーラム ・株式会社ちば南房総 ・道の駅三芳村・鄙の里
- ・道の駅大津の里 花俱樂部 ・株式会社富楽里とみやま ・千葉県立館山野鳥の森 ・千倉町民宿組合
- ・千倉オレンジセンター ・道の駅とみうら・枇杷俱樂部 ・ローズマリー公園

一緒に千葉を元気に
しませんか？
会員校募集中！

【お問い合わせ先は裏面を
ご覧ください】

千葉自然学校スタッフ紹介

清水 旭(くま) 千葉県立大房岬自然公園勤務



大阪生まれ千葉育ち。自然系の専門学校を経て日本の自然について伝えたいと思い自然学校に入りました。動物の写真を撮りに山へ入ったり、海辺で岩を裏返してみたり、自然を体で感じるのが大好きです。そんな僕の好きなことがほとんどできてしまう大房岬自然公園でみなさんも自然を体で感じたくさん自然との出会いを楽しんでください。



子どもたちと岬の生きものの調査などのイベントなども行っています。

【有資格】

- ・レンジャーシップライセンス【日本動物福祉機能協会】
- ・グリーンセイバーベーシック【樹木・環境ネットワーク協会】
- ・ジュニアリーダー 中級【公益社団法人 全国こども連合会】
- ・エコ・アニマルコーディネーター【TCA】
- ・プロジェクト・ワイルド鳥編エドゥケーター【一般財団法人公園財団】
- ・アドバンスド・オープンウォーター・ダイビング【PADI】
- ・カヤック パドル3【日本セーフティカヌー協会】など

【得意分野】

写真/インタープリテーション/遊ぶこと

【好きなこと】

写真/散歩/DIY/ギター

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。

また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

認定NPO法人を目指して ～ご寄付のお願い～

当法人の活動趣旨にご賛同いただいた企業・団体・個人の皆様からのご支援をお待ちしております。(一口3,000円)

▼振込先(郵便局/払込取扱票を使用)

振替口座 00170-5-259431

加入者名 特定非営利活動法人 千葉自然学校

※払込取扱票に以下のご記入をお願いいたします。

【住所氏名欄】ご住所、お名前、電話番号

【通信欄】「寄付」、領収書のご希望有無

▼振込先(銀行)

千葉銀行 千葉駅前支店 普通 3740275

とくいひえいりかつどうほうじん ちばしぜんがっこう りじちよう
特定非営利活動法人 千葉自然学校 理事長 久保田

※お手数ですが、ご住所・お名前・電話番号・領収書のご希望有無を千葉事務所(下記)へお知らせください。

寄附団体ご紹介

- ・学校法人中村学園ハッピースイーツ製菓専門学校 様
- ・株式会社かしわや食堂 様
- ・林造園土木株式会社 様
- ・公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー 様
- ・スコープジャパン株式会社 様
- ・株式会社 HMC 東京 千葉営業所 様
- ・株式会社戸倉商店 様
- ・株式会社富楽里とみやま 様
- ・NPO法人国際自然大学校 様
- ・有限会社原園芸 様
- ・税理士法人Tax ジャパン 様
- 他(順不同)

発行：NPO法人 千葉自然学校

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：http://www.chiba-ns.net メールアドレス：info@chiba-ns.net

